

2022年度一般選抜 管打楽器 課題について

管打楽器の演奏課題は、受験の方式(「対面式」「非対面式」)に関わらず共通です。

フルート

- (1)音階と分散和音 M. Moyse : Exercices journaliers pour la flûte (M. モイーズ『フルートのための日課練習』)(音型は2022年度 東京音楽大学 入学試験要項 p.39で確認してください)
 - ・長音階(A) E dur(ホ長調)
 - ・短音階(B) cis moll(嬰ハ短調)
 - ・分散三和音(C) D(ニ音)からのアルペジオ
- (2) J. Andersen : 24 Studies for flute, Op.21(J. アンデルセン『24のエチュード 作品21』)より No.9, No.22
- (3) W. A. Mozart : フルード協奏曲 第1番 ト長調 K.313 より第1楽章(カデンツァは含まない)
※いずれも版の指定なし。暗譜の必要なし。前奏はSoloの4小節前より始める。
※「対面式」受験者の(3)の伴奏者は大学が用意する(楽譜の提出不要)。「非対面式」受験者の演奏動画提出は無伴奏でも可

オーボエ

- (1) 音階 (音型は2022年度 東京音楽大学 入学試験要項 p.39で確認してください)
 - ・長音階 E dur(ホ長調)
 - ・短音階 b moll(変口短調)
- (2) F. W. Ferling : 48 Etudes, Op.31
 - ・No.5、No.7、No.9より任意の1曲および、No.6、No.8、No.10より任意の1曲の計2曲(版の指定なし。暗譜の必要なし)

クラリネット

- (1) 音階 R. Eichler : Scales for Clarinet の以下の調の1番をレガートで演奏すること。
 - ・E dur(ホ長調)およびc moll(ハ短調)
 - (2) E. Cavallini : 30 Capricci(Ricordi)より No. 19
 - (3) 次の2曲のうちいずれかを演奏すること。
 - ・C.M.v.ウェーバー : クラリネット協奏曲 第1番 ヘ短調 作品73より第1楽章 (Baermannのカデンツを含む)前奏はSoloの10小節前より。
 - ・C.M.v.ウェーバー : クラリネット協奏曲 第2番 変ホ長調 作品74より第1楽章。前奏はSoloの6小節前より。
- ※「対面式」受験者の(3)伴奏者は大学で用意する。「非対面式」受験者の演奏動画提出は無伴奏でも可

ファゴット

- (1) 音階
 - ・長音階 A dur(イ長調)スタッカートで
 - ・和声的短音階 fis moll(嬰ヘ短調)レガートで
- (2) J. Weissenborn : Fifty Bassoon Studies, Op.8. Vol.2
 - ・No.1 およびNo.13 (繰り返しなし)
- (3) J. Weissenborn : Fifty Bassoon Studies, Op.8. Vol.2 の Nos.22-43 より任意の1曲。
※(2)(3)は暗譜の必要なし。

サクソフォーン

⇒アルト・サクソフォーンで演奏すること。

- (1) 音階 (音型は 2022 年度 東京音楽大学 入学試験要項 p.40 で確認してください)
 - ・長音階 Fis dur(嬰へ長調)
 - ・和声的短音階 b moll(変口短調)
- (2) F. W. Ferling : 48 études pour tous les saxophones(F. W. フェルリンク 『サクソフォーンのための 48 の練習曲』 [M.ミュールによる増補改訂版] A. Leduc)より任意の奇数番号 1 曲と任意の偶数番号 1 曲の計 2 曲を演奏すること。
- (3) 自由曲 1 曲 (編曲作品可。抜粋の場合は、楽章等を専攻別曲目記入票に明記すること)
※(2)(3)は暗譜の必要なし。

ホルン

- (1) 共通課題 (実音)(音型は 2022 年度 東京音楽大学 入学試験要項 p.41 で確認してください)
 - ・長音階 D dur (二長調)
 - ・短音階 c moll (ハ短調)
- (2) W. A. Mozart : ホルン協奏曲 第 3 番 変ホ長調 K.447 より 第 1 楽章(カデンツァなし)
※(2)は暗譜の必要なし。前奏は Solo の 4 小節前より始め、それ以降のカットなし。
※「対面式」受験者の伴奏者は大学が用意する (楽譜の提出不要)。「非対面式」受験者の演奏動画提出は無伴奏でも可。

トランペット

- (1) 分散和音 2022 年度 東京音楽大学 入学試験要項 p.41 掲載の音型を実音 B dur で開始し、順次 E dur まで下がること (暗譜)
- (2) 共通課題 (実音)(音型は 2022 年度 東京音楽大学 入学試験要項 p.41 で確認してください)
 - ・長音階 B dur (変口長調)
 - ・短音階 g moll (ト短調)
- (3) J. B. Arban : Fantaisie Brillante (華麗なる幻想曲)より主題と変奏曲 I、II、III
Arban's Complete Conservatory Method 所収 (暗譜の必要なし)
※「対面式」受験者の伴奏者は大学が用意する。「非対面式」受験者の演奏動画提出は無伴奏でも可。
[使用楽譜] J. B. アーバン『12 の幻想曲とアリア』No. 3(ISR Collection, 全音楽譜)

トロンボーン(テナー・トロンボーン)

- (1) 共通課題(実音)(音型は 2022 年度 東京音楽大学 入学試験要項 p.41 で確認してください)
 - ・長音階 C dur(ハ長調)
 - ・短音階 a moll(イ短調)
- (2) J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone. Book 1. Edited by Alan Raph(C. Fischer)より No.8
- (3) G. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone(G. コプラッシュ 『60 のエチュード(トロンボーン)』 (全音楽譜))より No.15, No.40
※繰り返しなし。暗譜の必要なし。

バス・トロンボーン

- (1) 共通課題(実音)(音型は 2022 年度 東京音楽大学 入学試験要項 p.41 で確認してください)
 - ・長音階 F dur(へ長調)
 - ・短音階 d moll(ニ短調)
- (2) O. Blume : 36 Studies for Trombone with F Attachment より Nos.5, 23, 25 (暗譜の必要なし)

チューバ

- (1) 共通課題(実音)(音型は 2022 年度 東京音楽大学 入学試験要項 p.41 で確認してください)
 - ・長音階 B dur(変口長調)
 - ・短音階 g moll(ト短調)
- (2) G. Kopprasch : 60 Selected Studies(R.King Music) No.22 および
M. Bordogni : 43 bel canto studies(R.King Music) No.12
- (3) J. S. Bach : Air and Bourrée (Wm. J. Bell 編曲) (暗譜の必要なし。伴奏なし)

ユーフォニアム

- (1) 共通課題(実音)(音型は 2022 年度 東京音楽大学 入学試験要項 p.41 で確認してください)
 - ・長音階 B dur(変口長調)
 - ・短音階 g moll(ト短調)
 - (2) J. Roht : Melodious Etudes for Trombone. No.5
 - (3) J.B.Arban : Variations on a Song "Vois-tu la neige qui brille"(「輝く雪」の歌による変奏曲)
Arban's Complete Conservatory Method 所収
- ※(2)(3)は暗譜の必要なし。版の指定なし。
※「対面式」受験者の伴奏者は大学が用意する。「非対面式」受験者の演奏動画提出は無伴奏でも可。
「[使用楽譜] J. B. アーバン『12の幻想曲とアリア』 No. 5(ISR Collection, 全音楽譜)

ティンパニ

- (1) ロール $pp \longleftarrow f \longrightarrow pp$ Es(変ホ)30秒以上
※26(または25)インチサイズの楽器で演奏する
- (2) R. Hochrainer : Etüden für Timpani. No.19、No.40
※26(または25)インチと29(または28)インチの2台で演奏する
- (3) 小太鼓による2つ打ち(響き線ありで演奏すること。楽器は各自持参のこと)
- (4) マリンバによる2オクターヴの音階(音型は自由)
 - ・長音階 Es dur(変ホ長調)
 - ・短音階 h moll(口短調)※長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する

小太鼓

- (1) 2つ打ち、ロール $pp \longleftarrow f \longrightarrow pp$ (30秒以上) (響き線ありで演奏すること)
- (2) A. J. Cirone : Portraits in Rhythm. No.4, No.31
- (3) マリンバによる2オクターヴの音階(音型は自由)
 - ・長音階 Es dur(変ホ長調)
 - ・短音階 h moll(口短調)※長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する

マリンバ

- (1) 3オクターヴの音階、分散和音(音型は自由)
 - ・長音階 H dur(口長調)
 - ・短音階 c moll(ハ短調)※長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する
- (2) M. Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone (Alfred Music) の39EtudesよりXV(15番)。
- (3) 自由曲(伴奏なし)
- (4) 小太鼓による2つ打ち(響き線ありで演奏すること。楽器は各自持参のこと)